

【概略】

大館市 財務状況把握の結果概要について

総合評価 (平成28年度)

債務償還能力 [地方債等の債務の大きさとその償還原資を獲得する能力]

問題なし

実質債務月収倍率(②)が低いことから、債務の水準に問題はない。  
また、行政経常収支率(④)が高いことから償還原資の水準に問題はない。

資金繰り状況 [経常的な収支と積立金等の備えからみた資金余裕状況]

問題なし

行政経常収支率(④)が高いことから、経常的な収支の余裕度の水準に問題はない。  
また、積立金等月収倍率(③)が高いことから、資金繰り余力の水準に問題はない。

財務指標

H28

H32

指標	①債務償還可能年数 ( $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ )	②実質債務月収倍率 ( $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ )	③積立金等月収倍率 ( $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ )	④行政経常収支率 ( $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ )
問題なし	5.2年	8.1月 ↓ 11.3月	4.4月	13.0%
やや注意		18月	3月 ↓ 2.7月	10% ↓ 3.7%
注意	15年 ↓ 25.1年	24月	1月	0%

